

岡山県医師会消化管検診研究会講演会

日時:平成29年9月2日(土)14:00~17:00

場所:岡山県医師会館 三木記念ホール

開会挨拶 岡山県医師会 副会長 松山 正春

講演Ⅰ 座長 草加病院 院長 草加 勝康

演題「胃がん検診の現状と課題」14:05~15:20(質疑応答を含む)

講師:東京都がん検診センター消化器内科部長 入口 陽介 先生

休憩

講演Ⅱ 座長 岡山大学病院光学医療診療部 助教 原田 馨太

演題「大腸がんの内視鏡検診と近未来像」15:30~16:45(質疑応答を含む)

講師:昭和大学横浜市北部病院消化器センター長(教授)工藤 進英 先生

本講演では、次代の大腸がん検診法として現標準法の便潜血検査(FOBT)に全大腸内視鏡検査(TCS)を加えた対策型検診を目指した大腸内視鏡検診の有効性評価のためのランダム化比較試験で得られた知見について報告する。

近年、大腸早期癌の診断学は目覚ましい発展を遂げ、われわれが大腸癌のメインルートとして主張してきた de novo である IIc をはじめとする陥凹型大腸早期癌の重要性が認識されてきている。

病変の質的診断において、内視鏡診断は極めて重要であり、色素拡大内視鏡による pit pattern 診断は腫瘍・非腫瘍の鑑別のみならず、腫瘍の進達度診断に有用であり、不必要な生検やポリペクトミーを回避することが可能となる。

また近未来に貢献する医療の展望として、500 倍の拡大倍率の超拡大内視鏡(endocytoscopy)から抽出された内視鏡画像に対する人工知能(AI)を用いた内視鏡自動診断システムについて概説する。

閉会挨拶 岡山県医師会 副会長 松山 正春

※日医生涯教育講座単位：3単位

CC 演題Ⅰ 11 予防と保健(0.5単位) 12 地域医療(0.5単位) 82 生活習慣(0.5単位)

演題Ⅱ 9 医療情報(0.5単位) 11 予防と保健(0.5単位) 82 生活習慣(0.5単位)

生涯教育チケット帳を持参お願いいたします。

また日本内科学会認定総合内科専門医更新の2単位(予定)が認定されます。

※本講演会は、「岡山県消化管精密検診施設」更新に関わる講演会(年1回出席)に認定されていますので消化管精密検診委嘱施設の方は聴講をお願いします。

会員施設のコ・メディカルの方も奮ってご参加下さい。

講演Ⅰ、講演Ⅱとも講話後、質疑応答を受けます。

※託児希望の方は岡山県医師会 HP より生涯教育⇒託児申込書をダウンロードをして8月25日(金)まで FAX でお申込をお願いします。FAX 086-251-6622